

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年7月20日
【会計年度（又は事業年度）】	自 2020年1月1日 至 2020年12月31日
【発行者の名称】	北欧投資銀行（Nordic Investment Bank）
【代表者の役職氏名】	アンドレ・クースベック（総裁兼最高経営責任者） André Küüsvek (President and Chief Executive Officer)
【事務連絡者氏名】	弁護士 島崎 文彰
【住所】	東京都千代田区神田小川町一丁目7番地 小川町メセナビル4階 島崎法律事務所
【電話番号】	（03）5843-9631
【縦覧に供する場所】	該当なし

1【提出理由】

2021年6月29日に提出しました有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、本有価証券報告書の訂正報告書により、該当事項を以下のとおり訂正するものであります。

2【訂正事項】

第3 発行者の概況

3 発行者が国際機関又は政府関係機関等である場合

- (1) 設立
- (3) 組織
- (4) 業務の概況
- (5) 経理の状況

3【訂正箇所】

訂正箇所には下線を付してあります。

第3【発行者の概況】

3【発行者が国際機関又は政府関係機関等である場合】

(1) 【設立】

<訂正前>

設立の目的・根拠および設立年月日

(中略)

法律上の目的

2004年契約および定款によると、当行の目的は、サウンド・バンキング原則に従って社会経済的な配慮をしたうえで利用可能な融資を行い、加盟国および当行から融資を受けるその他の諸国の利益となる投資プロジェクトを実現させることである。当行は、準備金の積立てと払込済資本金に対する合理的収益を得るため、その業務活動から利益を上げることを義務づけられているが、利益の最大化を目指す主体ではない。当行の業務上の資金は、加盟国による払込済資本金、利益剰余金および国際資本市場における借入により賄われる。詳細については、「(2)- 資本構成」、「(2)- 準備金」、「(4)- 長期負債」および「(4)- 財務活動」を参照。

沿革

加盟国の協力

(中略)

北欧投資銀行の設立

(中略)

1996年8月、北欧諸国の首脳は、北欧諸国に隣接する地域における環境投資に対する融資を行う特別環境貸出ファシリティ（以下「環境投資貸出ファシリティ」という。）の設定を決定した。このファシリティは1997年1月25日に北欧閣僚評議会で承認され、1997年8月28日に効力を生じた。このファシリティは、当行の貸出業務の一部をなすもので、加盟国に隣接する地域における環境の保護および国境を越えた公害の減少を目指す投資に対する融資を行う目的で、公共・民間両部門に対する貸出および債務保証を行っていった。「(5) 経理の状況」の財務書類に対する注記の注12を参照。

(後略)

< 訂正後 >

設立の目的・根拠および設立年月日

(中略)

法律上の目的

2004年契約および定款によると、当行の目的は、サウンド・バンキング原則に従って社会経済的な配慮をしたうえで利用可能な融資を行い、加盟国および当行から融資を受けるその他の諸国の利益となる投資プロジェクトを実現させることである。当行は、準備金の積立てと払込済資本金に対する合理的収益を得るため、その業務活動から利益を上げることが義務づけられているが、利益の最大化を目指す主体ではない。当行の業務上の資金は、加盟国による払込済資本金、利益剰余金および国際資本市場における借入により賄われる。詳細については、「(2)- 資本構成」、「(2)- 準備金・基金」、「(4)- 長期負債」および「(4)- 財務活動」を参照。

沿革

加盟国の協力

(中略)

北欧投資銀行の設立

(中略)

1996年8月、北欧諸国の首脳は、北欧諸国に隣接する地域における環境投資に対する融資を行う特別環境貸出ファシリティ（以下「環境投資貸出ファシリティ」という。）の設定を決定した。このファシリティは1997年1月25日に北欧閣僚評議会で承認され、1997年8月28日に効力を生じた。このファシリティは、当行の貸出業務の一部をなすもので、加盟国に隣接する地域における環境の保護および国境を越えた公害の減少を目指す投資に対する融資を行う目的で、公共・民間両部門に対する貸出および債務保証を行ってきた。「(5) 経理の状況」の財務書類に対する注記の注12を参照。

(後略)

(3) 【組織】

< 訂正前 >

(前略)

2020年12月31日現在の当行の上級経営陣およびその役職は次のとおりであった。

氏名	当行における役職
ヘンリック・ノーマン*	総裁兼最高経営責任者
ヘイッキ・カンテル	法律顧問、法務部長
ヒルデ・キェルスベルグ	筆頭副総裁、リスクおよびコンプライアンス部長
ソレン・モルテンセン	副総裁、貸出部長代行
グンナール・オック	副総裁、ITおよびビジネス・サービス部長
ピョルン・オーデル	筆頭副総裁、副最高経営責任者、最高財務責任者兼財務・金融部長

* 2021年4月1日付でアンドレ・クーシュベックが総裁兼最高経営責任者に就任した。

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

2020年12月31日現在の当行の上級経営陣およびその役職は次のとおりであった。

氏名	当行における役職
ヘンリック・ノーマン*	総裁兼最高経営責任者
ヘイッキ・カンテル	法律顧問、法務部長
ヒルデ・キェルスベルグ	筆頭副総裁、リスクおよびコンプライアンス部長
ソレン・モルテンセン	副総裁、貸出部長代行
グンナール・オック	副総裁、ITおよびビジネス・サービス部長
ピョルン・オーデル	筆頭副総裁、副最高経営責任者、最高財務責任者兼財務・金融部長

* 2021年4月1日付でアンドレ・クースベックが総裁兼最高経営責任者に就任した。

(後略)

(4) 【業務の概況】

< 訂正前 >

(前略)

— 日本との関係
該当事項なし。

< 訂正後 >

(前略)

— 日本との関係
該当事項なし。

(5) 【経理の状況】

< 訂正前 >

(前略)

注10：予想信用損失

(中略)

貸出金の減損会計処理方針については「注１：会計方針」に、またECLの結果については以下に、それぞれ記載がある。

予想信用損失引当金 (百万ユーロ)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
2018年12月31日現在の残高	26	14	80	120
ステージ 1 への振替	5	-5	-	0
ステージ 2 への振替	-	-	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
組成または購入された新たな資産	7	2	-	10
償却および返済	-5	-4	-	-9
既存資産に対する再測定の影響	-4	6	-2	0
為替調整およびその他の増減	-	-	2	2
損益計算書上の変動の純額	2	0	0	2
実現損失	-	-	-	0
2019年12月31日現在の残高	29	14	80	122
ステージ 1 への振替	-	-	-	0
ステージ 2 への振替	-5	5	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
組成または購入された新たな資産	8	1	-	10
償却および返済	-4	-2	-1	-7
既存資産に対する再測定の影響	24	30	-	54
為替調整およびその他の増減	-	-	-7	-7
損益計算書上の変動の純額	23	35	-7	50
実現損失	-	-	-	0
2020年12月31日現在の残高	52	48	73	173

(中略)

予想信用損失の対象となる資産 (百万ユーロ)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
2018年12月31日現在の エクスポージャー	23,353	531	80	23,964
ステージ 1 への振替	212	-212	-	0
ステージ 2 への振替	-67	67	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
組成または購入された新たな資 産	7,290	21	-	7,311
償却および返済	-6,789	-201	-	-6,990
為替調整およびその他の増減	-5	2	-	-3
2019年12月31日現在の エクスポージャー	23,994	208	80	24,282
ステージ 1 への振替	-	-	-	0
ステージ 2 への振替	-1,324	1,324	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
組成または購入された新たな資 産	7,465	361	-	7,825
償却および返済	-4,401	-130	-	-4,531
為替調整およびその他の増減	-185	-23	-7	-215
2020年12月31日現在の エクスポージャー	25,548	1,740	73	27,360
(後略)				

<訂正後>

(前略)

注10：予想信用損失

(中略)

貸出金の減損会計処理方針については「注１：会計方針」に、またECLの結果については以下に、それぞれ記載がある。

予想信用損失引当金 (百万ユーロ)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
2018年12月31日現在の残高	26	14	80	120
ステージ 1 への振替	5	-5	-	0
ステージ 2 への振替	-	-	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
組成または購入された新たな資産	7	2	-	10
分割返済および返済	-5	-4	-	-9
既存資産に対する再測定の影響	-4	6	-2	0
為替調整およびその他の増減	-	-	2	2
損益計算書上の変動の純額	2	0	0	2
実現損失	-	-	-	0
2019年12月31日現在の残高	29	14	80	122
ステージ 1 への振替	-	-	-	0
ステージ 2 への振替	-5	5	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
組成または購入された新たな資産	8	1	-	10
分割返済および返済	-4	-2	-1	-7
既存資産に対する再測定の影響	24	30	-	54
為替調整およびその他の増減	-	-	-7	-7
損益計算書上の変動の純額	23	35	-7	50
実現損失	-	-	-	0
2020年12月31日現在の残高	52	48	73	173

(中略)

予想信用損失の対象となる資産 (百万ユーロ)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
2018年12月31日現在の エクスポージャー	23,353	531	80	23,964
ステージ 1 への振替	212	-212	-	0
ステージ 2 への振替	-67	67	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
組成または購入された新たな資 産	7,290	21	-	7,311
分割返済および返済	-6,789	-201	-	-6,990
為替調整およびその他の増減	-5	2	-	-3
2019年12月31日現在の エクスポージャー	23,994	208	80	24,282
ステージ 1 への振替	-	-	-	0
ステージ 2 への振替	-1,324	1,324	-	0
ステージ 3 への振替	-	-	-	0
組成または購入された新たな資 産	7,465	361	-	7,825
分割返済および返済	-4,401	-130	-	-4,531
為替調整およびその他の増減	-185	-23	-7	-215
2020年12月31日現在の エクスポージャー	25,548	1,740	73	27,360

(後略)